



## 平成 19 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 1 月 12 日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン  
 (URL <http://www.sk-japan.co.jp>)

(コード番号: 7608 東証・大証各第 1 部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 久保 敏志  
 責任者役職・氏名 取締役管理部長 川上 優

TEL : (06) 6765 - 0670

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 税金費用の計上基準について一部簡便な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結および持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成 19 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 11 月 30 日)

#### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 3 四半期	11,508	-	308	-	316	-	155	-
18 年 2 月期第 3 四半期	10,357	35.0	401	47.9	451	40.3	284	34.2
(参考)18 年 2 月期	12,413		339		405		265	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 2 月期第 3 四半期	18	84	18	78
18 年 2 月期第 3 四半期	34	97	34	53
(参考)18 年 2 月期	32	04	31	66

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。  
 なお、前年度に決算期を変更したことに伴い、前第 3 四半期と当第 3 四半期が期間対応していないため、当第 3 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりませんが、前第 3 四半期の業績数値を平成 17 年 3 月から 11 月の 9 ヶ月間で換算した場合の増減率は以下のとおりとなります。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 3 四半期 (18 年 3 月 ~ 11 月)	11,508	30.2	308	43.6	316	4.0
17 年 3 月 ~ 11 月	8,842	-	214	-	304	-

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当四半期の状況は、卸売事業は全般的に順調でしたが、小売事業は店舗の閉店等の要因により低迷し、売上高は 11,508 百万円、経常利益は 316 百万円となりました。

【事業の種類別セグメントの状況】

〔卸売事業〕

アミューズメント業界向け販売部門では、メーカー系・量販店系オペレーターへの販売が好調に推移し、商品面では「ドラえもん」や「ピンクパンサー」等を中心としたオリジナル商品の構成比が高まり、売上高の増加と利益率の改善に寄与しました。この結果、売上高は 4,568 百万円となりました。

S P 部門では、雑誌の付録や出版社向けの販売促進商品等の OEM が決まり好調に推移しました。この結果、売上高は 657 百万円となりました。

物販業界向け販売部門では、新規開拓による得意先への売上と併せ、チェーン店への営業強化による売上高の増加が大きく寄与いたしました。

商品面では、自社企画商品の導入を含む品揃えの拡充によりキーホルダー類が大きく伸長したことに加え、キャラクターのインテリア・キッチン雑貨等も好調でありましたが、主力商品であるメールブロックの落ち込みにより携帯電話関連グッズが大幅に減少し、売上高は 1,575 百万円となりました。

以上の結果により、売上高は 6,800 百万円、営業利益は 339 百万円となりました。

〔小売事業〕

小売事業では、既存店のリニューアル、キディランド FC 店の拡充、阪神タイガースオフィシャルショップの展開等により中間期は好調に推移しましたが、第 3 四半期に入り不採算店であった枚方市駅店の閉店、業態変更のためのワンダーグー伊川谷店の閉店等の影響により、売上高・利益ともに低迷しました。

商品別の売上構成比は化粧品 24.6%、服飾が 19.4%、家庭用電化製品が 13.1%、AV が 8.0%、情報機器が 6.7% となり、家電製品は全体の 36.4% と引き続き脱家電が着実に進んでいます。

以上の結果により、売上高は 4,707 百万円、営業損失は 22 百万円となりました。

なお、京都河原町店は平成 18 年 12 月 31 日付をもって閉店いたしましたので、発表日現在の直営店舗数は 7 店舗となります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年2月期第3四半期	6,270	2,961	47.2	357 53
18年2月期第3四半期	6,944	2,982	43.0	364 09
(参考)18年2月期	5,083	2,983	58.7	360 42

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第3四半期	44	235	233	938
18年2月期第3四半期	308	578	192	1,234
(参考)18年2月期	145	577	15	895

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より42百万円増加し、938百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、44百万円となりました。

これは主に売上債権の増加および棚卸資産の増加等があったことにより一部相殺されたものの、仕入債務の増加等があったことを反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、235百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出および保険積立による支出等があったことを反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、233百万円となりました。

これは主に短期借入金の返済による支出および配当金の支払額等があったことにより一部相殺されたものの、短期借入れによる収入および長期借入金による収入等があったことを反映したものであります。

【参 考】

平成19年2月期の連結業績予想（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	15,200	600	333

（参考） 1株当たり予想当期純利益 40円33銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

通期の業績予想につきましては、概ね平成18年10月5日発表の予想どおりに推移しており変更はありません。

[ 業績予想に関する注意事項 ]

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は業況等の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

## 〔添付資料〕

## 1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 四 半 期 末	当 四 半 期 末	前 連 結 会 計 年 度 の
	連 結 会 計 期 間 末 (平成 17 年 12 月 31 日現在)	連 結 会 計 期 間 末 (平成 18 年 11 月 30 日現在)	要 約 連 結 貸 借 対 照 表 (平成 18 年 2 月 28 日現在)
	金 額	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	1,234,342	938,120	895,210
受取手形及び売掛金	2,190,454	1,542,568	1,062,061
棚卸資産	1,375,389	1,514,704	1,048,255
前払費用	44,276	43,535	37,303
繰延税金資産	196,422	154,089	137,835
その他	122,508	154,603	75,115
流動資産合計	5,163,394	4,347,623	3,255,781
<b>固定資産</b>			
有形固定資産	534,077	628,072	604,883
無形固定資産	6,760	8,219	6,744
投資有価証券	259,664	268,503	239,377
保証金	547,576	530,019	540,797
保険積立金	296,346	332,099	293,951
繰延税金資産	131,432	150,366	136,667
その他	4,834	6,023	5,714
固定資産合計	1,780,692	1,923,303	1,828,135
資産合計	6,944,086	6,270,926	5,083,917
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>			
買掛金	2,565,288	1,984,271	1,039,110
短期借入金	398,000	348,000	194,000
未払金	416,667	240,310	398,746
未払費用	62,716	66,335	56,505
未払法人税等	249,407	104,118	167,798
賞与引当金	30,041	139,078	54,153
その他	105,290	121,052	87,298
流動負債合計	3,827,411	3,003,167	1,997,612
<b>固定負債</b>			
長期借入金	-	200,000	-
退職給付引当金	77,567	81,065	78,002
預り保証金	56,200	25,220	25,000
固定負債合計	133,767	306,285	103,002
負債合計	3,961,178	3,309,452	2,100,614
<b>(資本の部)</b>			
資本合計	2,982,907	-	2,983,302
負債、資本合計	6,944,086	-	5,083,917
<b>(純資産の部)</b>			
純資産合計	-	2,961,474	-
負債、純資産合計	-	6,270,926	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前四半期連結 会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	当四半期連結 会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年11月30日)	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年2月28日)
	金額	金額	金額
売上高	10,357,552	11,508,736	12,413,851
売上原価	7,805,462	8,646,517	9,378,041
売上総利益	2,552,090	2,862,218	3,035,809
販売費及び 一般管理費	2,151,070	2,553,670	2,696,124
営業利益	401,019	308,548	339,684
営業外収益	70,521	28,294	92,076
営業外費用	19,862	19,968	26,121
経常利益	451,678	316,874	405,639
特別利益	71,755	8,830	76,330
特別損失	214	-	284
税金等調整前四半期 (当期)純利益	523,220	325,704	481,686
税金費用	238,428	169,829	216,313
四半期(当期)純利益	284,791	155,875	265,372

### 3. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前四半期連結会計期間(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,743,737	3,613,814	10,357,552		10,357,552
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	29,279		29,279	(29,279)	
計	6,773,017	3,613,814	10,386,831	(29,279)	10,357,552
営業費用	6,481,925	3,501,455	9,983,381	(26,848)	9,956,533
営業利益	291,091	112,358	403,450	(2,431)	401,019

当四半期連結会計期間(自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 11 月 30 日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,800,973	4,707,762	11,508,736		11,508,736
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	92,927	770	93,697	(93,697)	
計	6,893,901	4,708,532	11,602,434	(93,697)	11,508,736
営業費用	6,554,900	4,731,486	11,286,386	(86,198)	11,200,188
営業利益	339,000	22,953	316,047	(7,498)	308,548

前連結会計年度(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 2 月 28 日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,739,307	4,674,543	12,413,851		12,413,851
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	34,313		34,313	(34,313)	
計	7,773,621	4,674,543	12,448,165	(34,313)	12,413,851
営業費用	7,521,421	4,585,316	12,106,738	(32,571)	12,074,166
営業利益	252,199	89,226	341,426	(1,742)	339,684

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売および電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック、家電商品等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

当四半期連結会計期間（自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 11 月 30 日）、前四半期連結会計期間（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日）および前連結会計年度（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 2 月 28 日）のいずれも、当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当四半期連結会計期間（自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 11 月 30 日）、前四半期連結会計期間（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日）および前連結会計年度（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 2 月 28 日）のいずれも、海外売上高がないため、該当事項はありません。